

科目	単位	時間	履修学年	講師名
基礎看護技術Ⅲ (食事・排泄)	1	30	1	
ねらい	生理的ニードに対する日常生活援助技術である食事・排泄の援助技術を習得する			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	【食事援助技術】①食事援助の基礎知識 ・食事の意義について ・食べるために必要な機能 2回目 ・栄養状態のアセスメントについて ・摂食・嚥下機能のアセスメント	講義		
2回目		講義		
3回目 4回目 5・6回目	【食事援助技術】②経口摂取の援助 ・安全・安楽な食事援助 ・経口摂取の援助方法の実際 ギャッチアップ 30度での食事介助 視覚障害のある患者への援助	講義 講義 演習		
7回目	《排泄援助技術》①排泄援助の基礎知識 ・排泄の意義 ・排泄器官の機能・排泄のメカニズムについて ・排泄のアセスメント	講義		
8回目 9回目	《排泄援助技術》②自然排泄の援助 ・自然排尿および自然排便の介助の実際 床排泄の援助（便器・尿器を使用した援助） 床排泄の援助（おむつによる排泄援助） ・おむつ装着体験から考える排泄援助	講義 演習		
10回目	【食事援助技術】③非経口的栄養摂取の援助 ・経管栄養の意義と必要性・方法の実際 ・経管栄養の危険とその観察・援助	講義・演習		
11回目 12回目 13・14回目	《排泄援助技術》③自然排便を促す援助、導尿 ・排便を促す援助 浣腸 摘便 ・一時導尿・持続的導尿の援助とリスク ・導尿の実際 一時導尿（男性・女性）	講義・演習 講義・デモンストレーション 演習		
14.5回目(45分)	まとめ	講義		
15回目(45分)	終講試験	試験		
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護学技術Ⅱ 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第2版 決定版 ケアに生かす 検査値ガイド			
評価方法	筆記試験(1時間【45分間】): 100点			
備考	食事や排泄は、人にとってどんな意味がある行為でしょうか。そこから、どのように援助するのがよいか考えていきましょう。食事・排泄にかかわる人体の構造と機能を理解することにより、根拠をもって安全に技術を提供することができるよう学習していきましょう。			